

郵便番号

(ふりがな)

住所

(ふりがな)

氏名

電話番号

電子メールアドレス

意見

災害時におけるメタリック加入回線の必要性について

ユニバーサル・サービスの実現における議論では、Data 通信に加えて光電話も同時に含めて推進する方針が打ち出されている。しかしながら、災害時には一般家庭などにおいて、停電が発生すれば、メタリック加入回線がない場合、携帯電話以外に外部とのコンタクト手段が失われることになる。

このような状況を想定し、メタリック加入回線を残しておくべきと思量いたします。携帯電話においても周知の通り、災害による基地局損傷や充電不足、さらに電波不具合時に生ずる急速な電池残量減（基地局とのリンクが失われた場合に、携帯電話端末は、やたらに位置情報電波を出して電池消耗を引き起こす）など、肝心のときに役立たないこともある。

筆者の経験でも、台東区池之端3丁目地域が本年春頃、地域全体が停電した際、光電話が使えなくなり、危機感を覚えたことがあった。この経験を経て自宅では、フレッツの光電話を解約し、以前契約していたメタリック加入回線を、工事費を支払って復活させた経緯がある。従って、個人的経費も増加したが、安全確保のためやむを得ないことと考えている。

以上、意見を述べさせて頂きました。同様の配慮はすでに論議されておるものと思料いたしますが、一意見としてお取り上げ頂きますよう、お願い申し上げます。